

ハンドボール

No 18

第69回国民体育大会(長崎がんばらんば国体)ハンドボール競技
試合結果・戦評報告書

競技日	10月20日(月)	試合番号	Aテ	回戦	決勝
種別	少年男子	会場	東部スポーツ広場体育館		
Aチーム名			Bチーム名		
沖縄県			神奈川県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
36	16	前半	16	33	
	20	後半	17		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

少年男子決勝、神奈川のスローオフでスタート。先制したのは神奈川。③庄山のミドルで先制。その後も⑥川元のポストや⑩宮崎のカットイン、⑪門間の速攻で主導権をつかむ。対する沖縄は⑤田里のロングや⑥與那嶺の速攻、⑦下地のロングで巻き返しを図るが、神奈川の強力な攻撃に、沖縄DFが対応できない。開始11分6-10神奈川リードで、沖縄がタイムアウトを申請。その直後から沖縄の3-3DFが機能し、③伊舎堂のミドルや②川上のポスト、⑩森田サイドで同点に追いつく。神奈川は②村田の速攻などで引き離しにかかるが、退場者出て流れに乗れない。12-12同点のまま終盤に突入。終盤も激しい攻防が続くが、神奈川①飯村、沖縄⑫宮國の両キーパーが好セーブを連発。互いにペースがつかめず、16-16の同点で前半を折り返す。

後半は、沖縄の②川上がポストで先制すると、立て続けにカットインが決まり一歩抜け出す。しかし、神奈川も⑦橋本のサイドが決まると、③庄山にボールを集め応戦。後半12分24-24の同点、緊迫した展開が続く。神奈川は左45度の前を出す変則5-1にシステムを変更し、⑧福本のミドルなどで流れをつかもうとする。しかし、沖縄も譲らない。28-28の同点のまま終盤に突入。終盤は神奈川が退場者を出したチャンスを逃さず、33-31で沖縄が一歩リード。さらに28分神奈川に退場者が出て、最後は36-33で沖縄が競り勝ち、優勝となった。

5日間に渡って繰り広げられた今大会の決勝は、最後まで勝敗の行方が分からない緊迫した展開で、高い技術とチーム力がぶつかる内容となり、ここ長崎の会場を大いに盛り上げた。

記載者氏名

池田章洋

送信日時

10月20日(月) 13:25

送信者サイン

濱田 剛光